

ミニセミナー 第5回

太陽系外惑星データベース ExoKyotoの開発と公開 ハビタブル・ゾーンの再定義について

Development of Extrasolar Planetary Database
ExoKyoto and its re-definition of Habitable Zone

存在が確認された**太陽系外惑星系**をより理解し、異なるハビタブルゾーンの

定義を互いに比較するための系外惑星 データベース「**ExoKyoto**」

<http://www.exoplanetkyoto.org> の開発と公開を行なった。ハビタブルゾーンの定義は

Kopparapu et al. (2013)の定義が参照ケースとして定義されているが、その他に太陽系相当天文単位(SEAU)が定義され、系外惑星の位置と太陽系での想定されうる位置を理解することができる。またフレア星などの星の活動性を考慮に入れた新しいハビタブル・ゾーンの定義について検討しているが、それには「**水惑星**」であることが非常に重要な要素となる。



Yosuke Alexandre Yamashiki

山敷 庸亮

京都大学大学院
総合生存学館教授(専攻長)
宇宙総合学研究ユニット
副ユニット長

5月24日 Wed.
17:30 -

会場: 京都大学地球惑星科学連合ブース (A12-14)